⑲ 日本国特許庁(JP)。

① 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

平3-200648

❸公開 平成3年(1991)9月2日

⑤Int. Cl. 5 B 65 H

13/00

識別記号 330 D 3 1 0

厅内整理番号

8308-3F 8308-3F 8102-

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

弩発明の名称

// B 41 J

画像プリンタ

②持 頭 平1-341544

②出 顋 平1(1989)12月27日

@発 明 ⑫発 明 者 明

者

村 中 Ш

恆

Ż 昌 E

袭 弘

四発 明 零 包出 頣 人

理

⑫発

少代

村 松下電器産業株式会社 弁理士 森本

本 哲 也

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社內 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社內 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社內 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 大阪府門真市大字門真1006番地

1. 発明の名称 画像アリンタ

2. 特許請求の範囲

- 1 . 枚葉状の記録紙を収納する記録紙カセット と、前記記録紙カセットの上方位置に設けられ て、収納された記録紙が接触したときにこの記 録紙を控送する数送ベルトまたはローラと、前 記記鉢紙カセットの下方から剪記記録紙を剪記 **娘送ペルトまたはローラに押圧せしめる紙押圧** 板と、前記数送ベルトまたはローラの給紙方向 下茂側に設けられて、前記想送ベルトまたはロ 一ラに押圧可能であり、押圧時に剪記記録紙の. 2. 枚目以降をさばくように構成されたリバース ローラと、育記記録紙カセットの給紙方向下流 明のコーナー部に臨み、前記記録紙の上面、下 面、側端面、前端面をそれぞれ案内するガイド 部を有し、前記紙押圧板による記録紙の押圧動 作に連動して回動するように設けられ、窮記上 面ガイド部と薪記囲端面ガイド部のなす角度を

鈍角に構成するとともに、前記上面ガイド部と 前記前端面ガイド部が形成する間隙を少なくと 6.前記記録紙の厚さ5枚以内に構成したゲート 部材とを設けた画像プリンタ。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、自動給紙機構を備えた画像プリンタ に関するものである。

従来の技術

近年、画像プリンタにおいては、PETベース などの特殊な記録紙を逐続かつ自動的に装置内の 記録部に供給するために自動給紙機構を有するも のが見られるようになってきた。

以下図面を参照しながら、従来の画像アリンタ の例について説明する。第3回は従来の画像アリ ンタの断面図を示す。第3図において、装置本体 14にはサーマルヘッド1、アラテン2、インクシ ート3からなる記録部が設けられ、その給紙方向 上説例に、給紙後記録15を服動するキャプスタン 4とピンチローラ5が設けられ、さらにその岩紙

方向上流傾に、給紙と排紙の切換えをする切換ガ イド6とさらにその上流回にセパレートローラフ とピックアップローラ8が回転可能に設けられ、 このピックアップローラ8とセパレートローラ7 同にわたって投送ベルトタが張架されている。さ ろに、セパレートローラフに対応する位置にリバ ースローラ10が設けられ、このリバースローラ10 はトルクリミッタを同転上に有して回転可能であ り、装置本体14に回動可能に取り付けられたリバ ースローラ保持アングル11に保持されて、セパレ ートローラフの側で投送ベルト9に付して当接可 能に構成されている。また、ガイド板12はセパレ ートローラフと記録部のプラテン2に至る間に設 けられ、給低後の記録低15を案内する。枚葉状の 記録紙15を収納する記録紙カセット16は装置本体 14のガイド部13に着敗自在に取付けられる。紙押 圧板17は一端を中心に回動可能に設けられ、この 紙押圧板17の上に記録紙カセット16に収納された 記録紙15が複載され、押上レバー18が紙押圧板17 を一端を中心に回動して押上げたときに、記録紙

15は撤送ベルト9に押圧される。

このように構成された従来の画像アリンタについて、以下その動作を説明する。まず、記録紙15を複数枚収納した記録紙カセット16が装置本体14のガイド部13に沿って所定の位置に挿入保持される。給紙の際には、押上レバー18が上方に回動し、紙押圧板17を一端を支点として回動させての増を押上げ、紙押圧板17上に積載した記録紙15を扱送れたりに押圧する。次に、アクテすることに投入ルト9は給紙方向に駆動され、記録紙15は1枚または数枚が扱送されることになる。

一方、給紙の際には、セパレートローラ7に対し、 しま回していたリパースローラ10がリパースロー ラ保持アングル11によって記録紙15を押圧する方 内へ回動し、接送ベルト9を押圧する。ここで、 リパースローラ10は同軸上にトルクリミッタを循 えて給紙方向に対して逆回転可能であり、1 枚の 記録紙15をらばそのまま記録紙15を搬送し、2 枚 以上ならば2 枚目以降はさばいて逆送させる役目

を有している。 登送された 1 枚の記録紙 15はガイト 板 12と切換えガイド 6 にガイドされ、キャプスタン 4 とピンチローラー 5 の間を通過して給紙動作の完了となる。以後はキャプスタン 4 とピンチローラ 5 の押圧回転で送送され、同時に押上レバー 18とリバースローラ 10は降下する。

このとき、撥送ベルト9により撥送され、リバースローラ10によりさばかれた記録紙15は、第4 図に示すように、記録紙カセット16の給紙方向下流間の記録紙当接部端面16aに乗り上げることがある。この状態で1 牧目に撥送される記録紙15 b が接触すると、野電気による密着力が発生し、そのまま装置本体14の内部まで取り込まれる重送がのまま装置本体14の内部まで取り込まれる重送がのまま装置本体14の内部まで取り込まれる重送がいた。これを防ぐために、記録紙15 の10及牧分の厚みに相当する隙間を設けていた。発明が解決しようとする課題

しかしながら上記のような構成では、投送ベルト9と記録紙カセット16の給紙方向下読例の記録

紙当提都場面16aの間に記録紙15の10数枚分の隙間を設けているので、給紙の際には、第5図に示すように、リバースローラ10まで全隙間分の記録紙15が一度に突入することがある。10数枚の記録紙15が一度に突入すると、リバースローラ10の回転は止められ、スティック動作を誘発し、異音を発生したり、数枚まとめて重送されるといった問題を有していた。

課題を解決するための手段

上記 タは、 と、記 納され 送する トの下 押圧せ ラの給し トまたし 紙の2ま スローき コーナー 前端面を の押圧量 上面ガイ に構成す ド部が形 枚以内と である. 作用

であり、記 の片側コー を案内する 面を案内す 给纸方向了 部20c と、 逝ガイド語 15の押圧動 日在に記録 1 F 23 20 a 竹のをなす 部20aと前 際は記録紙 構成されて このよう について以 記録紙15を、 従本体14の: 保持される。 同効し、紙ま

持周平3-200648(3)

△上記課題を解決するために本発明の面像アリン タ゚は、枚葉状の記録紙を収納する記録紙カセット と、記録紙カセットの上方位置に設けられて、収 的された記録紙が接触したときにこの記録紙を撥 送する微送ベルトまたはローラと、記録紙カセッ トの下方から記録紙を撤送ベルトまたはローラに 押圧せしめる紙押圧板と、撥送ベルトまたはロー ラの給紙方向下流側に設けられて、前記撤送ベル トまたはローラに押圧可能であり、押圧時に記録 紙の2枚目以降をさばくように構成されたリバー スローラと、記録紙カセットの給紙方向下読朗の コーナー部に臨み、記録紙の上面、下面、側端面、 前端面をそれぞれ案内するガイド部を有し記録紙 の押圧動作に連動して回動するように設けられ、 上面ガイド部と回端面ガイド部のなす角层を鈍角 に構成するとともに、上面ガイド部と的端面ガイ ド部が形成する間隙を少なくとら記録紙の厚さう 枚以内とするゲート部材を設けた構成にしたもの である.

作用

であり、記録紙力セット 16の 船紙 方向下流明端部の片側コーナー部に臨み、記録紙 15の 放上段 日間を実内する上面ガイド部 20 a と、記録紙 15の の に変換する 日間端面がイド部 20 b と、記録紙 15の お紙方向下流間の前端面を案内する 前端の方面を 案内 する 記録紙 15の 数下段の 下面を 案内 する 記録紙 15の かって を なっと、記録紙 15の かで を なっと が が イド部 20 a と 回端面 が イド部 20 a と 可端面 が イド部 20 c の 同に形成 は が り の を なすように 相成され、 さらに、 上面 が り の を なすように 相成され で の 同に形成 な ように 構成されている・

このように構成された本実施例の画像プリンタについて以下その動作について説明する。まず、記録紙 15を複数枚収納した記録紙カセット 16が装置本体 14のガイド部 13に沿って所定の位置に挿入保持される。輪紙の際には押上レバー 18が上方に同効し、紙押圧板 17を一端を支点として回動させ

以下本発明の一実施例を図面に基づいて説明する。

第1図は本発明の一実施例の画像プリンタの構成を示す断面図、第2図は同画像プリンタの要部を示す斜視図である。第1図および第2図において、従来例と同じ番号のものは同一部品を示すので、その詳細な説明は省略する。20はゲート部材

て他端を押上げ、紙押圧板17上に積載した記録紙 15を扱送ベルト9に押圧する。ゲート部材20は記 鉢紙カセット16の給紙方向下流開端部の片閉コー ナー部に記録紙15を案内しながら回動するように 設けられているので、積層した記録紙15に持ち上 げられる。同時にセパレートローラフが回転し、 **想送ベルト9を給紙方向に駆動するが、記録紙15** が複数枚銀送されそうになって6、ゲート部材20 の上部ガイド部20aと前端面ガイド部20cとで形 成される間隙によって通過可能枚数が決定されて いるので、所定の枚数以下、たとえば3枚以下の 記録紙 15だけが扱送される。ここで、記録紙 15の 通過可能枚数の設定を1枚としたいところだが、 実際には記録紙 15のカールがある場合、前端面ガ イド部20cに引っかかり給紙不能になることがあ るため、最大5枚以下を目指してガイド部間の間 隙を設定している。また、ゲート部材20の上面ガ イド部20aと側端面ガイド部20bのなす角度θは 角角をなすように構成されているので、記録紙15 の中心に向かうほど間限が広がるように設定され

たことになり、記録紙15がカールしていても給紙 不能になりにくい。

一方、セパレートローラフに対し離間していたリバースローラ10がリバースローラ保持アングル11の記録紙押圧方向への回動によって投送ベルトタを押圧する。ここでリバースローラ10はトルクリミッタを値え、給紙方向に対して逆回転することより、1枚の記録紙15ならばそのまま記録紙15を設送し、2枚以上ならば2枚目以降はさばいて逆送させ、1枚の記録紙のみを提送する。

超送された 1 枚の記録紙 15はガイド板 12と切換えガイド 6 にガイドされキャプスタン 4 とピンチローラ 5 の間を通過して給紙動作の完了となる。以後はキャプスタン 4 とピンチローラ 5 の押圧回転で超送され、同時に押上レバー 18とリバースローラ 10は降下する。また押上レバー 18の降下により紙押圧板 17と記録紙 15を案内しているゲート部材 206 給紙前の状態に戻る。

このとき、投送ベルト9により投送され、リバースローラ10によりさばかれた記録紙15は、記録

のみを 綴送でき、 給紙不能になったり 異音が発生 したりせず、 また、 重送を防止でき、 品位と信頼 性を 承羅的に 高めるという 優れた効果を得ること ができる、

4. 図面の簡単な説明。

第1 図は本発明の一実能例の面像アリンタの断面図、第2 図は同画像アリンタの要部斜視図、第3 図は従来の画像アリンタの断面図、第4 図および第5 図はそれぞれ同従来の画像アリンタの要部断面図である。

2 … プラテン、4 …キャプスタン、5 … ピンチローラ、7 … セパレートローラ、8 … ピックアップローラ、9 … 撤送ベルト、10 … リバースローラ、11 … リバースローラ支持アングル、15 … 記録紙、16 … 記録紙カセット、17 … 紙押圧板、20 … ゲート部材、20 a … 上面ガイド部、20 b … 何端面ガイド部、20 c … 前端面ガイド部、

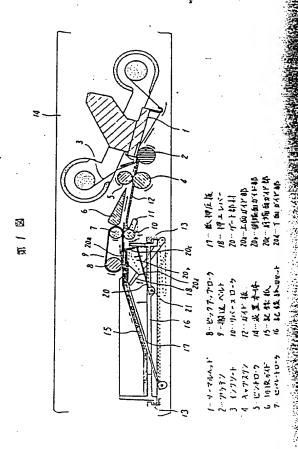
代理人 森 本 善 弘

紙カセット16の給紙方向下流側の記録紙当接部場面16aに乗り上げることがあるが、搬送ベルト9と記録紙当接部場面16aの間に、記録紙15の10数枚分の厚みに相当する隙間を設けているので、1枚目に搬送される記録紙15aと記録紙当接部場面16aに乗り上げた記録紙15bが接触しなくなり、重送を防ぐことが出来る。

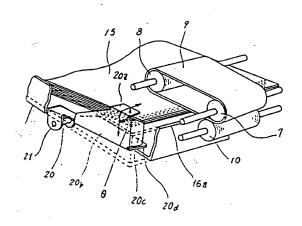
なお、本実館例では、2 動間に扱送ベルトを設 架しているが、短送手段として扱送ローラ 2 本を 用いてもよい。

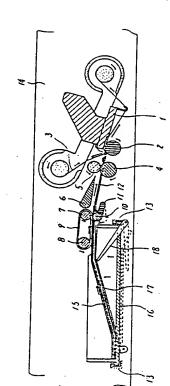
発明の効果・

以上のように本発明によれば、記録紙カセットの給紙方向下流側端部のコーナー部に臨み、記録 内の上面、下面、側端面をそれぞれを取内するガイド部を有し記録紙の押圧動作に運動して回動するように設けられ、上面ガイド部と側端面ガイド部のなす角度を鈍角に構成するとも同様である。 少なくとも記録紙の厚さ5枚以内とするゲート部材を設けることによって、確実に1枚目の記録紙

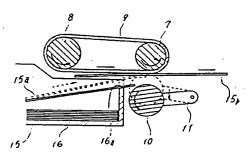


第2図

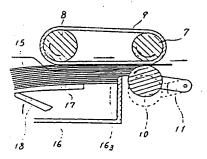




22 1 57



\$ 5 E



-307-

(54) PICTURE PRINTER

(43) 2.9.1991 (11) 3-200648 (A)

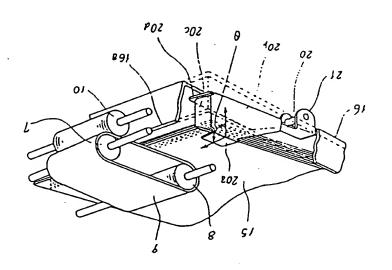
(19) JP

(22) 27.12.1989 (21) Appl. No. 1-341544

(72) NORIYUKI KAWAMURA(3) (71) MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD (51) Int. Cl⁵. B65H3/56,B65H1/14/(B41J13/00 2)

to guide the surface of each of the upper, the lower, the side ends, and a front end of a recording sheet is mounted to the corner part of the end on the downstream side of a cassette To prevent the occurrence of a double feed by a method wherein a guide part so that it is rotated in linkage with press operation, and an angle between guide parts for the upper and the side end surfaces is set to an obtuse angle, and a gap between the upper and the front end surfaces is set to a value equivalent to the thickness of five or less recording PURPOSE:

sheet 15 is mounted to the corner part of the end part on the downstream side of a cassette the number of sheets is limited by the gap. Even when the recording sheet is curled, the CONSTITUTION: A gate member 20 rotated in linkage with press operation of a recording 16. The gate member 20 comprises an upper surface guide part 20a to guide the upper surface 20d. An angle heta between the guide parts 20a and the 20b is set to an obtuse angle, and a gap between 20a and 20c is set to a value equivalent to the thickness of five or less recording of the recording sheet, a side end surface guide part 20b to guide a side end surface, a front end surface guide part 20c to guide a front end surface, and an under surface guide part sheets 15. Thus, even when a plurality of the recording sheets 15 are about to be conveyed, obtuse angle eliminates an impossibility for the recording sheet to be fed, and only the limited number of sheets is separated one by one by means of a separating roller 10,



(22) Anmeldetag in Japan

(72) Erfinder (71) Anmelder

(52) Japanische Patentklassifikation

(51) Internationale Patentklassifikation

zu den Bibliographledaten LEGENDE

(54) Titel der Patentanmeldung

(11) Nummer der JP-A2. Veröffentlichung (21) Aktenzeichen der JP-Anmeldung

(43) Veröffentlichungstag